

令和3年度 第2回長野市観光振興審議会 会議録

日 時 令和3年11月9日(火) 午後15時30分から午後16時35分まで
場 所 長野市若里市民文化ホール(長野市若里3丁目22番2号) 会議室2・3
出席者 委員(14人中13人出席)
事務局 11人
観光振興計画進捗管理SCOPE2人(次期観光振興計画策定業務受託者)
ながの観光コンベンションビューロー1人
信州松代観光協会1人

1 開 会

2 観光課長挨拶

令和3年度第2回目の長野市観光振興審議会となる。観光行政につき前回の審議会の内容をさらにブラッシュアップしているので、審議をお願いしたい。

お手元のチラシの通り、9月に川中島古戦場史跡公園にて、「THE EXPO 善光寺 2021～甲信越戦国物語～」として「川中島の戦い」にちなみ市立博物館と連携しイベントを開催した。川中島古戦場史跡公園周辺で現在も行われているQRスタンプラリーについては、長野市民にとって身近な川中島古戦場を謎解きしながら5～6カ所巡っていただく趣旨のもの。11月8日現在の集計では、周遊し武将ブロックをゲットした方が、1,000人に届くと同時に、アクセス件数は、4,500回を超えている。コロナ禍にかかわらず長野市民はもちろん、市外、県外からの観光客にも非常に好評を得ている。

また、国道19号篠ノ井小松原付近の土砂崩れや信州新町のみすず橋付近の地滑りと次々と災害がおこり、打撃を受けている、信州新町、中条、大岡の道の駅エリアについても、当初の予算にはなかったが急遽、ながの観光コンベンションビューローと連携し、対策を考えたのが次のチラシである。11月1日から12月30日までの2か月間、集中的に誘客を図るため、デジタルスタンプラリーを開催している。3つの道の駅を巡り買い物をしていただき、スタンプをコンプリートすると地元のぶしな玄米珈琲やドライフルーツがもらえる。さらにダブルチャンスとして、長野市の宿泊施設、信州新町のさざり荘・中条のやきもち家・大岡の聖山パノラマホテルに泊まっただけのようなプレゼントが当たるキャンペーン。これもコロナ禍に多くの皆様に中山間地域に足を運んでいただける工夫の取り組みである。

今日は令和2年度の実績等も案内するが、我々観光振興課の実績を見ていただき、忌憚のないご意見を頂戴したい。

3 会長挨拶

昨年から続く新型コロナウイルス感染症により、長野市の観光産業は大きな影響を受け

ている。現在、ワクチン接種も進み、全国的に感染が制御されており、県を跨ぐ移動も解除され、少しずつではあるが、観光業界にとっては明るい兆しが見える。一日も早く終息し、観光産業を始め、すべての経済活動が回復できることを願っている。

前回、10月1日に開催した第1回の観光振興審議会では、次期観光振興計画の策定について審議され、貴重な意見をいただいた。

本日は、長野市観光振興計画の進捗状況を説明していただくとともに前回いただいた意見を参考に、事務局において作成した次期観光振興計画の素案について審議をしていただく。委員の皆様にはそれぞれの専門の立場から忌憚のない意見をいただきたい。なお、新型コロナウイルス感染対策のため、4時35分には、会議を終了したいと思う。委員の皆様のご協力のもと、観光を通じて長野市の活性化が図られるよう、努めていきたい。

4 議事（議長：笠原会長）

（1）長野市観光振興計画の進捗状況について

資料1-1 令和2年度 長野市観光振興計画の指標達成状況について

資料1-2 令和2年度 長野市観光振興計画に基づく事業実績及び評価―抜粋―

資料1-3 アクションプランの主な取組、成果・課題、今後の方向性

（2）次期観光振興計画の（素案）について

資料2-1 長野市観光振興計画 令和4年度―令和8年度（素案）

資料2-2 長野市観光振興計画 概要版 令和4年度―令和8年度（素案）

（3）国民宿舎松代荘改修事業について（地方創生拠点整備交付金の活用）

資料3 国民宿舎松代荘改修事業について（地方創生拠点整備交付金の活用）

資料4 長野市観光振興計画（素案）に対する市民意見の募集（パブリックコメント）

【質疑応答】

（1）長野市観光振興計画の進捗状況について

A委員：資料1-1で目標の中に「地域コミュニティの活性化」とある。善光寺・戸隠・松代はもちろん基本だが、31地区ある住民自治協議会など、もう少し幅広い連携をして、観光スタイルの多様化に合わせた隠れた観光資源の発掘に力を入れてはどうか。

事務局：住民自治協議会との連携、まさにその通りである。31地区住民自治協議会は、その地域の「宝」を一番よく知っている住民の皆さんの団体。善光寺というシンボリックなものもすごく大事だが、地域の生活に根ざした住民にとっては見慣れた当たり前のものを、そこに行って、実際見たいという要望もあるのも事実。しっかりと連携して、反映させていきたい。

A委員：資料 1-2 の中で長野市ならではの食事やお土産の開発支援が挙げられている。いろんな団体が食事の開発をしてはいるが、なかなか地に足がついていかず、もどかしい。もちろん長野市は「そば、おやき、りんご」が有名だが、それだけでなく、スイーツの開発や B 級グルメを売り出せるような開発の支援が必要だと思う。

善光寺・戸隠・松代の中で、特に松代のお客さんを増やすには、やはり「食」が効果的。何か松代をアピールする食があれば魅力も高まるのではないかな。

事務局：来年、真田信之松代入部 400 年記念ということもあり、松代観光協会をはじめ地元の皆さんと松代の素材を使用したクラフトビールの開発している。先日も 2 回目の試飲会があり、地元の事業者の方から「これは売れる」、さらに「このビールにあった食事を作りたい」と大変嬉しい言葉を頂戴した。場所も大事だが、やはり食事も重要。そこにそれを食べに行く、そこでしか味わえないものを、しっかり地元と共有して作る。それが次のお客様に繋がるという思いで動いている。

ちなみに松代クラフトビールは長芋・さくらんぼ・あんずの 3 種、現在「善光寺表参道イルミネーション」のクラウドファンディングで販売しているので WEB ページを見て欲しい。

A委員：戸隠のウィークポイントはスキー場の利活用。蕎麦を食べに来るだけでない夏のお客さんもいるし、夏のスキー場の利用は全国的にも考えられていると聞く。観光振興課でも是非、夏の戸隠スキー場活用を本格的にやって欲しい。

事務局：戸隠もサマーシーズンを含め一年通して稼いでいかなければならない。飯綱も大座法師池に森の駅が来年の 4 月にオープン予定。連携して考えていく。

議長：松代は地鶏が有名ではなかったか。須坂もシードルをやっている。ビールだけでは厳しい。しかし、こういう動きはいいと思う。

B委員：1-2-2、善光寺界隈のリアル七福神、これは非常にいいアイデア。七福神に扮した人が町を案内するのは参加する人も楽しいと思う。実は私は松代甲冑隊の一員だが、今コロナで全く出番がなく、皆寂しい思いをしている。コロナが落ち着いてきたなら、是非甲冑隊を呼んでいただき、松代の宣伝の役に立ちたい。

事務局：THE EXPO 善光寺 2021 のイベントに松代甲冑隊が出演する企画があったが、コロナで残念ながら中止になった経緯がある。来年松代の 400 年記念のイベントもある。連携して一緒に盛り上げて行きたい。

C委員：戸隠の取り扱いについて。観光圏域という括りで言うと、戸隠のフロントに飯綱高原がある。飯綱スキー場を閉鎖して、ウィンターシーズンから転化し、いかにしてグリーンシーズンに特化した観光人口を増やしていくかを課題とする観光振興課の担当の「飯綱高原観光施設活用検討会」もあると認識している。この飯綱高原に対しての記述がこの資料に無いことが気になる。飯綱はレジャーで言うと日帰り圏内、また大阪、関東からも訪れる人が多い。今後観光振興計画を練っていく上で、切っても切れない戸隠・飯綱をひとつの観光圏域として、どう捉えていくか、是か非かではなく、観光人口を増やすための取組みと目線の高さでお願いしたい。

事務局：飯綱高原については、前回もご指摘があり、記載した。この後説明する。

C委員：資料の1-1。入込客数と宿泊客数の相対比較の数字だけで比べてみた。資料の4ページと6ページの表の比較になるが、簡単に言うと入込客数の14%から15%が、実際の宿泊客数で推移していることとなる。この観光振興計画は経済の活性化と、交流人口を増やしたコミュニティの活性化という大きなテーマが2つ有ると理解している。当然、入込客の中には日帰りの方もいるが、この14%から15%、100人来たら14人から15人位しか実際は長野市内に泊まらないことになる。この現実を直視して、長野市内のどこに宿泊をしているのか。そういうことに対して、何らかのデータを持っているのか。

事務局：宿泊客数の動向について。我々は対面でアンケート調査をしているが、「長野市内に宿泊」もしくは「日帰り」という項目しかない。結果として長野を訪れた方がどこに宿泊したか迄は追ってはいない。ただ限定的だが、善光寺の表参道イルミネーションの期間中だけ、善光寺に来られた方に「どこ泊まりましたか」と聞いている。今そのデータは手元には無いが、長野市以外ならどこに宿泊しているかも詳しく把握し、委員の意見を参考にして、戦略的に反映したいと考える。

C委員：資料1-2の3ページ4の一部、コンベンション誘致強化という項の中、施策評価にオリンピック関連施設で開かれるスポーツ大会のブランディング。今第三次のスポーツ推進計画をスポーツ課で練っている最中。その中でスポーツ課と観光振興課との横断的な情報交換があるのか。やっぱりオリンピックムーブメントということで解釈すれば、長野市の後世に残す観光資源であることは間違いない。全中のスケート大会はエムウェーブで20年連続開催が約束されている。野球でいえば甲子園、バスケットボールやバレーボールでいえば代々木第二体育館、吹奏楽は普門館。目指せ！甲子園のように、目指せ！エムウェーブで、オリンピック施設のムーブメントを活用したブランディング化を積極的にして欲しい。

事務局：スポーツ推進計画には委員として観光振興課も参加している。オリンピック施設はビッグハット・エムウェーブ等があるが、長寿命化計画に基づき、市としても今後も継続的に維持していくという方針である。いずれにしても、しっかり連携を取っていききたい。

(2) 次期観光振興計画の（素案）について

D委員：来年は御開帳があり、私も善光寺の門前でお店をやっているので非常に期待したいところ。だが資料では前回の御開帳の時の年度の目標値が入り込み数で、12,288（千人）で、来年の御開帳の目標値は10,945（千人）とある。市として参拝客は減ると考えているのか。私も率直なところコロナの影響で、前回よりは減ると考えるが、長野市の見解を聞きたい。

事務局：入込客数の数字は、令和4年度、年間を通したもの。御開帳は4月、5月、6月で、7月以降、急には回復しないと考えている。ただ、この数字には前回の入込数の707万人をプラスしている。我々の意気込みは707万人以上来てもらいたい、最低限707万人はキープしたいと上乗せしているが、年間で見ると、それ以降の数字がそこまで回復しないと捉えた数字である。

議長：前回の御開帳の707万人は、雨の日がなく晴天が続く最高の状況の数字。今回は3ヶ月分で試算しているのか。

事務局：御開帳の期間は、前回2ヶ月で来年度は1ヶ月延長され3ヶ月となる。コロナ禍でもあり安全を考慮しての分散参拝となるのでプラスされると思った。

E委員：来年は諏訪の御柱と御開帳が重なる。長野市としてどんな情報を持っているか知りたい。

事務局：まさに神と仏が会える年となり、いいタイミングだと思う。諏訪市との連携は令和3年3月から始めている。ただコロナ禍で行事をやるかやらないかで止まっている部分があるのも事実。今の状況で既存のツアーで諏訪から善光寺へというのは難しい。ただ好機ではある。善光寺の長野市と、諏訪、松本や上田とも連携をし、企画列車やバスでつなげる案もある。ながの観光コンベンションビューローと一緒に検討し、関係する観光協会とも連携をしながらタイアップもできる機会があると思う。各自治体と誘客の相乗効果を狙いたい。

F 委員：資料 2-2 地区別方針と実践プロジェクトの「戸隠・飯綱高原」に関連して。戸隠は中社辺りを中心に重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。せっかくのお墨付なのだから、通りを石畳にしたり、建物の景観をよくしたりと修理や維持に力を入れるための補助金等の計画はあるのか。

また戸隠は数ある観光地の中でも稀有な場所だと思う。歴史文化と山岳高原と二つ併せ持ったリゾート地はなかなか他にない。その二つを持って全く違う楽しみ方ができる。歴史と自然も満喫できる贅沢なエリアとして、もっと大きな魅力を発信して欲しい。

事務局：まちづくりという意味では観光振興課のみでなく、文化財課など市全体で考えていかなければならない。そこを訪れて雰囲気は凄くいい戸隠地区は観光にとって宝である。今日の提案を受け止め、しっかり検討したい。

F 委員：松代の宿泊客のまちなか周遊促進プロジェクト。そんなに宿泊施設が少ない松代で宿泊がどのくらいできるのか。松代荘を中心とする宿泊観光客、その方々をメインターゲットとして松代の活性化となると人の量としては少ない。それよりも高速のインターから降りてすぐの信号のあたりに松代へ誘導する案内が大切。長野の観光は松代からという意識付けを促し、予定外だが寄ってみようと思わせる仕掛けをしていくべきではないか。

事務局：ご指摘の通りである。ロイヤルホテル長野・松代荘・その他の小さな宿いくつかだけで宿泊客に対応できるかという部分はある。歴史的な文化財はたくさんあるのに、お店が少ない等課題も多いが、まずは松代に来ていただくことが大事だと考える。最初に松代へと誘導して、まちなかを巡ってもらえるよう積極的にチャレンジをして行きたい。

F 委員：善光寺エリアは大分充実してきた。ただ長野市が一番面白い形となるために、駅と善光寺の間にもう一つ、周遊の拠点をつくらなければならない。長野市を面白くする聖地こそが権堂だと思っている。今、権堂は本当に寂れている。皆さんご承知のように、夜の町としても非常に沈んでいる。だからこそ逆に今、お金をかけずに、しなやかな、面白いまちづくりができる。その最後のチャンスであるということ、権堂は長野市の観光地として貢献できるエリアでもあるということ、この点にもう少し関心も持っていただきたい。

事務局：善光寺エリアは最近、若い方々が出店する等魅力的な部分が多い。権堂も映画館の

相生座など非常に面白い試みをしているところがある。地元の皆様と連携をしてアイデアを募りながら取り組んでいきたい。

(3) 国民宿舎松代荘改修事業について（地方創生拠点整備交付金の活用）

質問なし

(1)、(2)、(3) 全体を通して

G委員：このパンフレット「善光寺御開帳へ行こう」、これは、どこに配られているものか。もしくはこれから配られるのか。

NCVB：これは来年の善光寺御開帳の誘客のパンフレットである。当初9月の末に納品予定だったが、コロナの関係で情報収集に時間がかかり、10月の最終週にでき上がった。県外でのキャラバン、旅行会社への配布用で約3万部製作した。御開帳奉賛会と連携をしながら、県外の方に広く周知する目的のもの。市内でもホテルや観光事業者にも提供し、活用をお願いしている状況。希望があれば承る。

G委員：先ほどから話が出ているが前回の707万人に匹敵する観光客の方に来ていただきたいというのが、ここにいる皆さんの気持ち。是非、長野市をはじめ、観光コンベンションビューローにも積極的に活動して欲しい。私達も民間の立場で、何とか大勢の方においでいただくようにしたいと思う。

議長：最後にひとこと。振興計画の進捗状況の中にもあるが、やはりこのコロナ禍で、その地域が昔と変わったのかとか、本当の「いいところ」を求める方が多いと思う。善光寺は善光寺、戸隠は戸隠だが、こんな工夫をしているとか、その地域ならではのものを、やっぱりそれぞれの地域でブラッシュアップしていく、その努力が必要だと思う。

善光寺御開帳で訪れる観光客707万人以上を目指して、ぜひぜひ委員の皆様にもいろいろな面でご協力いただきたい。

～ 事務局説明資料の内容のとおり、進めていくことが了承された。～

5 その他

事務局：追加資料4－長野市観光振興計画（素案）に対する市民意見の募集（パブリックコメント）について。本日、審議の素案について、市民意見聴取のため、パブリックコメントを令和3年12月1日（水）から令和3年12月27日（月）の間、観

光振興課、各支所、市のホームページ等で行う。そのパブリックコメントの結果を第3回の審議会で報告する。審議会の日程は、令和4年2月上旬に予定しています。よろしくお願いたします。

6 閉 会